

# ツリガチ!

## 秋の外房SLJ



▲当日の釣り場は御宿～勝浦沖の水深20～30メートル前後



▲朝イチはアジのラッシュに突入

▲SLJ 初挑戦の初物はアジ。1尾釣れてひと安心  
▲20～30センチ級のアジが連発

Profile ◆よしおか すすむ  
1982年生まれ。ヨッシーの愛称で親しまれている。一つテンヤマダイ、ライト系オフシヨアルアーを得意とする。ジャッカルソルトプロスタッフ、シーガーインストラクター。

撮影/文◎本誌編集部

食われる側のアジが静かになったってことは……



スリッパも  
フイナも  
だっただ  
たね!

★最後の流してアカヤガラを釣り上げて有終の美を飾る。ヒットルアーはバンブルズ バイトビーンズT G60グラム



▲バンブルズ バイトビーンズTGのタダ巻きでマダイを手にした



▲不動丸はタイラバもOK。45グラムのタイラバでマダイを4枚上げた  
▶40グラムのマダイ用ジグに交換し、タダ巻きで食わせた



ヨッシーこと吉岡進がエサ、ルアー釣りを問わず様々な釣り物にガチでチャレンジしていく連載「ツリガチ!」。第18回は外房のスーパードライジギング(以下SLJ)。  
SLJは、40～60グラムの軽いジグとライトなタックルを使い、巻いたり、シャクったりして自由に楽しむことができる人気急上昇中の釣りだ。10月下旬に釣行したのは外房勝浦川津港の不動丸。吉清晃朗船長が向かった釣り場は御宿沖の水深20～30メートル前後。ポイントに到着し、「バンブルズジグTG SLJ」40グラムをタダ巻きするヨッシーにアジがヒット!これを皮切りに船内のあちこちでアジが上がる。その後はマダイのフィーバータイムに突入し、0.5～1キ口級のマダイが次々と釣れ上がる。



▲船長がアカヤガラをスバッとタモ入れ



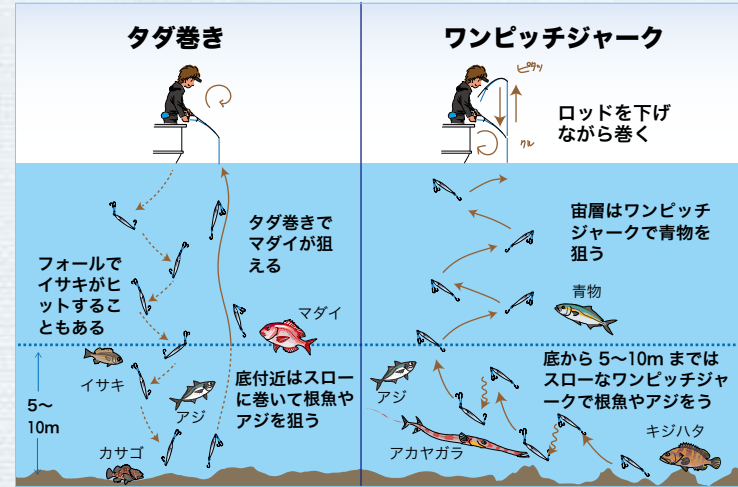
◆本編(62ページより)は高橋剛が執筆。沖釣りの楽しさをヨッシーとともに伝えたい!

## SLJの釣り方イメージ

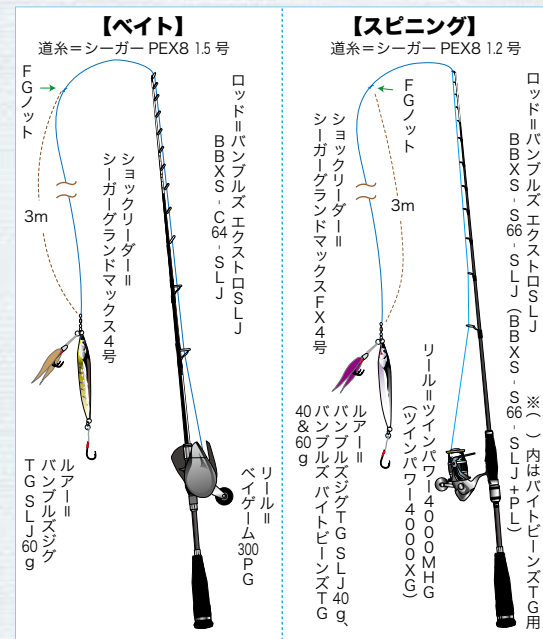
●様々な魚を狙えるのがSLJ。ハタ類やカサゴなどの根魚狙いは、底付近で魚にじっくりとジグを見せるイメージでスローに誘う。反応がなければワンピッチジャークで宙層にいる青物狙いに切り換えたり、タダ巻きでマダイを狙ってもいい。イサキはフォールで食ってくることもあるので投入時も集中しよう。



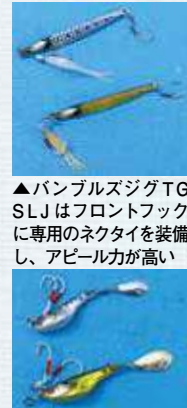
●タダ巻きは1秒間にリールのハンドルの回転1回転。ワンピッチジャークは1シャクリでハンドルの1回転



## SLJタックル



●しっかりと曲げてファイトを楽しみたいのであればSLJ専用ロッドが最適。軽く扱って扱いやすく、ジグのコントロールも容易だ



▲バンブルズジグTG SLJはフロントフックに専用のネクタイを装備し、アピール力が高い

## #船宿インフォメーション

外房 勝浦川津港 **不動丸**

☎0470-73-5538

- 料金=SLJ乗合一人1万1000円(氷付き)
- 備考=5時集合、集まり次第出船。ほかスルメイカへも出船



▲ビギナーに優しく釣り方を教えてくれる吉清晃朗船長(右)

▲大型快速船でゆったりとしたスペースで釣りが楽しめる



★最後の流して、値千金のキジハタを釣り上げたタカハシゴー。「ゴーさん、背ビレを立たせると格好いいよ」とヨッシー



▲イワシ回子にフィッシュイーターが集まっている

★イワシ回子を発見し、キャストイングで狙うとなんとトリプルヒット



▲イワシ回子を狙い撃ちするとソウダガツオが食ってきた  
▶猛スピードでルアーにアタックしてきたシイラ。小型でも引きは強烈だ

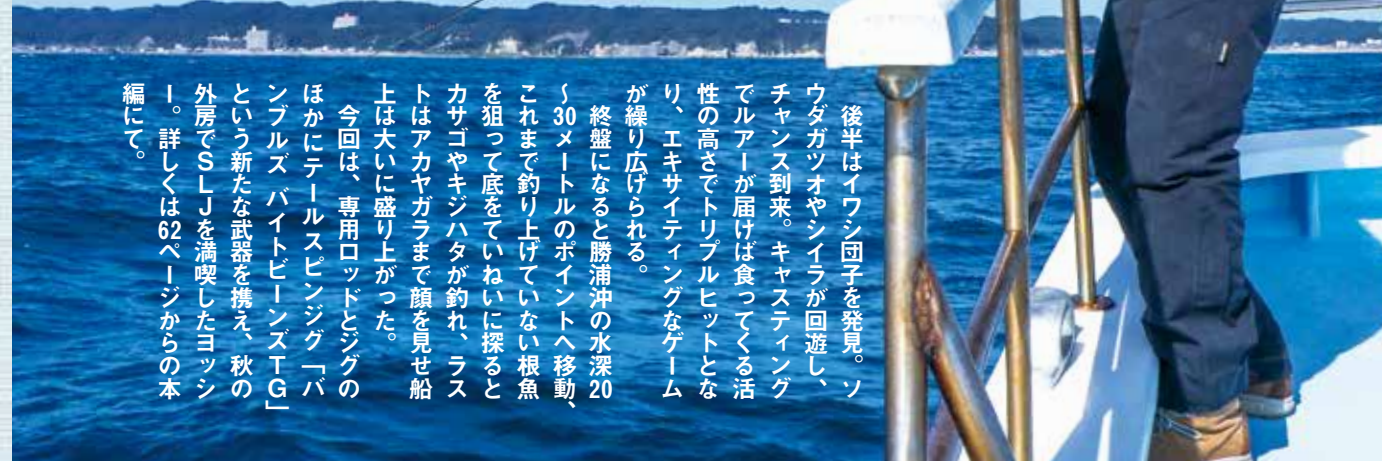


▲根掛かりすると船長が外してくれる

▲ジグで底をトントンたたいてカサゴをゲット



▲バンブルズ バイトビーンズTGはブレードが付いたSLJ用ルアー。タダ巻きするとブレードが動いてフラッシングで誘う



●ソウダガツオがヒットし、右へ左へと走り回る

後半はイワシ回子を見逃し、ソウダガツオやシイラが回遊し、チャンス到来。キャストイングでルアーが届けば食ってくる活性の高さでトリプルヒットとなり、エキサイティングなゲームが繰り広げられる。

終盤になると勝浦沖の水深20〜30メートルのポイントへ移動。これまで釣り上げていない根魚を狙って底をいねいに探るとカサゴやキジハタが釣れ、ラストはアカヤガラまで顔を見せ船上是大いに盛り上がった。

今回は、専用ロッドとジグのほかにテールスピニング「バンブルズ バイトビーンズTG」という新たな武器を携え、秋の外房でSLJを満喫したヨッシー。詳しくは62ページからの本編にて。